



本誌は、県民の皆様には山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、
当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>> 第3回子どもの読書オープンカレッジを開催しました。



▲講座の様子

平成29年10月25日(水)に、「好きこそものの上手なれ—稀代の動物画家 藪内正幸—」と題して、藪内正幸美術館館長の藪内竜太氏を講師に迎え、講座を実施しました。図書館の職員や小中学校の学校司書、ボランティアなど、子どもの読書に関心を持つ26名の参加がありました。

藪内正幸氏は、動物園で一日中動物を見て過ごすほど、幼い頃から動物が好きでした。じっくり観察した動物を思い出し、家に帰ってからその動物になりきって絵を描くという子ども時代を過ごしたそうです。その後、動物学者との文通をきっかけに、福音館書店に入社し、動物画家

として仕事を始めます。食事時間も惜しみ、数えきれないほどのスケッチをして、独学で絵を描く技術を身に付けました。31歳の時にフリーランスに転身、科学絵本の他にも図鑑や乳幼児向け絵本の挿絵も手掛け、現在も多くの子どものために親しまれています。

講演では、藪内正幸氏は天性の才能があったというよりも、動物の絵を描くという好きなことを見つけて、それを継続して行った結果、類い稀な技術を身に付けることができたというお話がありました。何か一つ夢中になれることを見つけ、時間をかけて行うことの大切さに改めて気づかされる講演でした。

参加者からは、「好きなことにまっすぐ向き合ってきた藪内さんの姿に刺激された。」「図書館でも特集展示をしたい。」「地元には美術館のある画家の、興味深い生涯を知ることができ、非常に勉強になった。」などの感想が寄せられました。

>> 「子ども読書ボランティアバンク」について

「第3次山梨県子ども読書活動推進実施計画」に基づき、県内の子どもの読書活動推進に関わるNPO、ボランティア団体の活動内容を調査しました。

県内の人材を活用し、子どもの読書環境をより豊かにすることを目的として、当館ホームページ「子ども読書ボランティアバンク」のページに「実演団体リスト」「新規メンバー募集团体リスト」を掲載しました。読み聞かせ等実演を希望される方やボランティア活動に興味のある方はご利用ください。

■URL https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/post_2.html

➤➤子どもの読書指導者養成講座（第2回・第3回）を開催しました。



▲第2回の講座の様子

平成29年度「子どもの読書指導者養成講座」の第2回を9月7日（木）、第3回を10月12日（木）に開催しました。

第2回は「昔ばなしの語りの法則」と題して、小澤昔ばなし研究所所長・筑波大学名誉教授の小澤俊夫氏にご講義いただきました。「うまかた やまんば」「三年寝太郎」などを実際に語っていただきながら、昔ばなしは「同じ場面は同じ言葉で語り、3回繰り返す」などといった“文法”があること、また、若者から大人への変化を語っていることなどをお話いただきました。子ども

たちは昔ばなしを聞くことで、魂のやすらぎを得て自らの人生を思い描くことができるというお話はとても印象的でした。受講者からは「昔ばなしの良さや大切さを改めて実感した。」「子どもたちに昔ばなしの面白さを伝えていきたい。」等の感想が寄せられました。

第3回は「児童文学とは何か」と題して、日本女子大学教授の川端有子氏にご講義いただきました。児童文学の「児童」とは、0～18歳（狭義では小学生）だが、現代は子どもの時代が長くなってきており、また、「文学」も時代によってその価値観が変化するため、児童文学を定義することは非常に難しいということ、また、児童文学の分類や、様々なジャンルとその発展について、主に英米文学を中心に『小公子』など具体的な作品を挙げながら詳しく解説いただきました。受講者からは「一言で“児童文学”といっても奥が深く幅広いことがよくわかった。」「時代とともに（児童文学の定義も）変わるということが理解できた。」等の感想が寄せられました。

それぞれの講義を通し、新たな発見とより深い知識を得ることができたようです。



▲第3回の講座の様子

➤➤子ども読書支援用品を貸出しています（団体向け）

エプロンシアターやパネルシアター、手袋人形などの子ども読書支援用品を貸出しています。利用できるのは、学校や保育園、幼稚園、福祉団体、ボランティア団体など各種団体で、事前に団体登録が必要です。貸出期間は1ヶ月間、各種類1点まで可能です。また、これらの用品や資料とセットで大型紙芝居や紙芝居の舞台、拍子木、パネルシアターのステージ、ブラックライトの貸出も行っています。ぜひご利用ください。

エプロンシアター 【全19種類】

エプロンを舞台に見立て、お話をする人形劇です。
「うさぎとかめ」「うらしまたろう」「おおきなかぶ」「おむすびころりん」「3びきのやぎVSトロール」など



パネルシアター 【全19種類】

布を貼ったパネルに、人形や背景の絵などを貼ったり外したりして物語を演じる人形劇です。
「赤ずきんちゃん」「かさじぞう」「さるかに合戦」「十二支のおはなし」「だれでしょう」など



手袋人形 【全12種類】

「キツネの親子」「クリスマスウサギ」「にわとりヒヨコ」「ねずみっこ」「花と草」など



■ホームページから各所蔵一覧をご覧になることができます

http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_list.html